正職員・パート
スキルを活かして
一緒にやりがいのある仕事を♪

看護師さん募集

勤務時間

＼＼ 相談に応じます ／／

日勤	8:30～17:00
夜勤（病棟）	16:30～1:00 0:30～9:00
夜勤（外来）	16:45～8:45

待遇他

- 通勤手当支給
- 賞与（年2回）
- 年次有給休暇
- 年間休日122日(R5年度実績)
- 職員駐車場
- 看護師寮（5年間家賃無料）
- その他 慶弔見舞 など

お問い合わせ

＼＼ ご不明な点はお気軽に
お問い合わせください ／／

〒731-0595
安芸高田市吉田町吉田3666
吉田総合病院 人事課
TEL 0826-42-0636

許可病床数 255床

・一般病床	111床
・地域包括ケア	98床
・療養病床	46床

- 救急告示病院
- 労災指定病院
- へき地医療拠点病院
- 居宅介護支援事業所
- 在宅介護支援センター
- 日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver2.0)

求人案内の詳細は
こちらから▼

広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院

外来ボランティア募集

活動場所 1階外来・玄関・受付

活動時間 平日9時から12時
（活動時間についてはご相談ください）

活動内容
- 玄関での車の乗降介助
- シルバーカー・車椅子の移送介助
- 各外来・検査への案内
- 車椅子・シルバーカーの清掃
- 総合受付での手続き介助
- 花壇の管理 など

未経験者の方も大歓迎です！

JA吉田総合病院 医療福祉支援センター　TEL0826-42-0636

青空 AOZORA
Public information magazine of the Yoshida general hospital
やさしい心で
良質な医療を
春号 vol.81
JA吉田総合病院
発行／広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2025年（令和7年）2月発行
https://yoshida-gene-hospi.jp

糖尿病と足の関係性、フットケアについて

フットケア看護専門外来　徳本美由紀

2011年11月、当院にフットケア看護専門外来が開設されました。現在5人の看護師が約10人の該当患者さんにフットケアを提供しています。いったい何をするところなのかと思われる方もいると思います。当院ホームページに『糖尿病を持つ方で足のしびれや痛みなどの症状や爪切りが難しい、足のことが気になる方を対象に専門の看護師が一人ひとりに合わせたお手入れや方法を提供します。足のことについてお悩みの方はフットケア看護専門外来にご連絡ください』と掲載していますが、あまり知られていないのが現状です。この場を借りて、糖尿病と足の関係性とフットケア看護専門外来も知っていただけたらと思います。

糖尿病と診断され、血糖コントロールが悪い状態で何年間も放置されると、血管が傷つきます。足の場合、冷えや色が悪くなる血行障害と足のしびれや感覚が鈍くなる神経障害、抵抗力低下で傷が感染しやすくなる3つの障害によって足の潰瘍、足の壊疽（えそ）が発生します。進行すると切断に至り、生活の質低下につながります。糖尿病は症状がないまま進行することが特徴ですが、足に注目すると糖尿病の合併症のサインが出ていることがあります。そのため「足は全身を映す鏡」とも言えます。知らないうちに進む合併症を早期発見する第一歩、それがフットケアです。

自分の足を大切にするために自分でできること

①**足の観察（見て・触る）**…毎日行います。見えにくい、手が届かない場合は誰かに頼む
②**足の清潔**…洗浄液（石鹸など）を泡立て優しく洗う
③**足の保湿**…乾燥が気になる部位を中心に保湿クリームなどを塗る
④**足の保護**…靴下を（特に靴を履くとき）履く。足に合った靴を選択する。けがに注意
⑤**足の爪切り**…短すぎると巻き爪の原因

フットケア看護専門外来の看護師は当院の内科専任医師がフットケアが必要と判断し、指示依頼があれば介入します。ケアでは足の観察、爪切り、洗浄・清潔保持、保湿、指導を行います。多くの方は他人に足を見せることに抵抗を持たれますが、足を見てもらうことがフットケアの第一歩です。糖尿病を持つ方、そうでない方もいつまでも自分の足を大切にして生活できるとうれしいですね。

市民公開講座 開催報告

令和6年11月16日(土)に第9回市民公開講座を開催しました。
今回は、「県北地域で持続可能な医療・福祉体制を目指して吉田総合病院OB・OGからのメッセージ」をテーマに、過去に当院で勤務された経験のある市立三次中央病院呼吸器内科医長 栗屋禎一先生、広島市立北部医療センター安佐市民病院 内科・総合診療科主任部長の原田和歌子先生を講師にお招きしました。
杉山病院長より、当院の役割や状況について報告した後、お二人の先生から、かかりつけ医を持つことの重要性、地域の包括支援センターや介護・在宅サービス等をうまく活用しながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことの大切さについてご講演いただきました。
また、安芸高田市内で活動されておられるマンドリングループ「ピッコラマンドリーノ」の皆様によるマンドリン演奏と、当院の麻酔科・難波恒久医師、精神科・小根森桜子医師、外科・井上和子医師で結成された「フラワームーン・トリオ」による弦楽三重奏をご披露いただきました。
当日は、136名の方にご参加いただきました。アンケートでは「地域住民の意識が地域医療に大きく影響することがよくわかった」という、ご意見もいただき、今回の開催の趣旨が伝わったのではないかと感じました。
来年は記念すべき第10回目の開催となります。皆様のご来場、お待ちしております。

病院長　杉山 英二

栗屋 禎一先生

原田 和歌子先生

司会・国光 かよこ
アナウンサー

藤本 悦志　安芸高田市長

ピッコラマンドリーノの皆様

フラワームーン・トリオの皆様

接遇研修

当院では、毎年接遇研修を行っており、今年度は、11月15日に開催されました。
昨年度の研修にてペップトークをテーマに好評であった松永佳世子先生を講師として迎え、「レジリエンス研修～しなやかに回復する力を育てる～」をテーマに講義いただきました。
レジリエンスとは、自分にとっての逆境や試練から立ち直る心の力(回復力・柔軟性・適応力)のことです。レジリエンスを構成する5つの力、レジリエンスを高めるとどうなるか、など教わりました。
参加者からは、「お礼を言う場面では“すみません”ではなく“ありがとう”を意識して使ってみようと思う」「ポジティブ思考になる方法が学べた」「とらえ方変換で感情のコントロールがしやすくなると感じた」など前向きな意見が多くありました。
今回の接遇研修を通して、患者さんに最幸の接遇を提供するためにまずはスタッフ一人一人が、自分たちの心に栄養を与えられるよう取り組んで参ります。

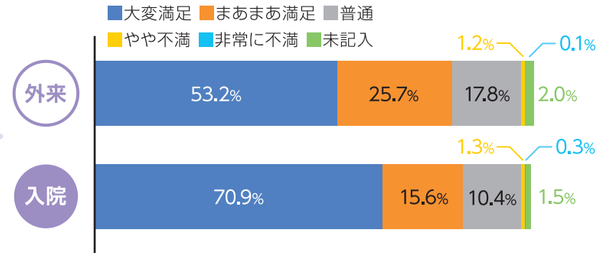
患者満足度調査結果の報告

吉田総合病院ではより良い病院作りのため患者さんにアンケート調査を実施しています。多くの患者さんにご協力いただきありがとうございました。今後も頂きましたご意見に真摯に向き合い取り組んで参ります。

調査期間：入院 2024年10月1日～31日　外来 2024年10月22日・23日
回答数：入院 85名　外来 328名

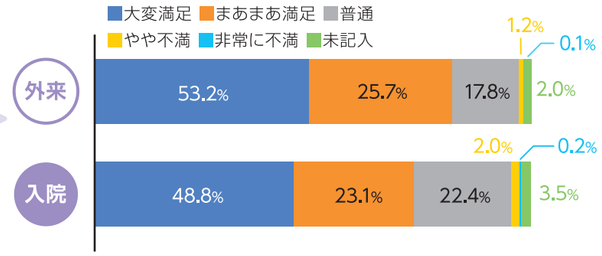
職員の接遇

職員の接遇が「満足」「まあまあ満足」の回答は外来が78.9%、入院は86.5%でした。外来は昨年より低い結果となり、入院では高い評価となりました。今後も当院をご利用いただく皆様に「職員の接遇がとても良い」と言って頂けるよう接遇委員会と協力し取り組んで参ります。



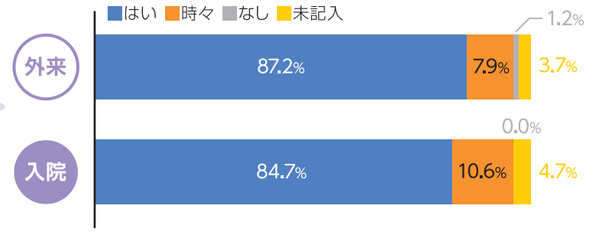
施設・機能

外来の調査では「満足」「まあまあ満足」が78.9%、入院が71.9%でやや低い評価でした。これは、施設の老朽化によりご不便をお掛けしていますが、建物の構造上改善に限界があることが大きな要因と考えます。又、外来の名前の呼び出しなどでプライバシーが保たれていないことから評価が低かったと考えます。ご意見に対しましては、今後も改善できるように検討して参ります。



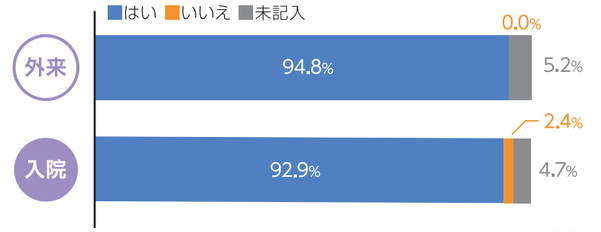
安全への取り組み

お名前を名乗って頂くように声掛けをしていますか?について「いつもできている」は外来が87.2%、入院が84.7%、「時々している」が外来7.9%、入院10.6%でした。名前確認が「時々」にならないよう今後も医療安全教育を継続し、患者さんの安全への取り組みを行って参ります。



今後の利用

外来は94.8%、入院は92.9%と多くの方が当院を「今後も利用したい」と回答頂きました。当院が地域で唯一の総合病院であり地域の方にはなくてはならない病院であると評価いただいたものと、身の引き締まる思いです。今後も患者さんのご期待に応え、満足していただけるよう職員一同全力で取り組んで参ります。



※待ち時間については別途報告させて頂く予定です。

サービス向上委員会